

迎古夢旅 4691 : 黄山・天国への階段 P110



眼下の光景を見たい衝動と、恐怖の狭間^{はざま}で、悩むひと時。
この時点では、足元が濡れているわけでもなく、快晴なのだが、途中、**握るものがない**。

風もほとんどなかったが、この辺でいいだろう。引き返すも、勇氣。

行きはよいよい、**帰り(下^{くだり}り)**は怖い。面白いだけでは、済まされない。

